

派遣期間中の行程

平成29年3月19日(日)～平成29年3月26日(日)

大分市立南大分中学校2年生



3月19日(日)

いよいよ出発する日となり、5人の生徒は元気に学校に集合しました。大きな荷物と期待と不安でいっぱいになりながらも、正面玄関前で盛大に壮行会を催してもらい教育委員



会の車で別府へ向かいました。別府で高速バスに乗り換え、いざ福岡国際空港へ!

2時間ほどバスに揺られ、福岡国際空港に到着。出国カウンターでチェックインを済ませてから昼食をいただきます。PTAのみなさんや先生方からのお饞別でちょっと豪華な昼食をいただきました。和食ともしばしお別れです。飛行機を見ながらの楽しい昼食時間となりました。

飛行機は福岡空港を2時半くらいに出発し、上海に4時に到着しました。時差が+1時間なので実質は2時間半くらい時間がかかっています。入国審査のため、一度飛行機を降りて上海空港の中に入りますが、警察官はにこりともしないので少し怖かったです。審査が終わると再び飛行機に戻り、それから武漢へ向かいました。6時半くらいに武漢に到着は



しましたが、福岡から武漢へ来た人でまとまって空港をでなくてはならず、1時間ほどかかりました。ここで生徒にかなり疲れた様子が見られました。

しかし、空港を出るとホストファミリーがウェルカムボードを持って明るく出迎えてくれたので、疲れも吹き飛び各家庭ごとに家路につきました。途中で夕食を取るためレストランなどに寄ったので実際に家庭に着いたのは10時くらいになりました。

3月20日（月）

武漢外国語学校へ初めて登校しました。あいにくの雨で、校庭で行われるはずだった歓迎会は中止となり、会議室で校長先生、副校長先生をはじめとする6人の先生方から歓迎の言葉をいただきました。日本の生徒代表で、松野柊子さんが、「日本と中国の懸け橋になりたい。」と決意表明をしました。その後、インターンシップの大学生が武漢市の説明をたくさんしてくれて、これからの一週間が楽しみとなりました。

受け入れ学級に入ると、日本の学校とは違い、靴を履き替えなかったり、どの教室にも電子黒板が設置してあったりと驚くことがたくさんありました。ひとつの教室に40人くらいの生徒がいるところは日本と同じでした。その中の15人くらいが日本語のコースを専攻している生徒で、あとの3分の2はフランス語とドイツ語を専攻している生徒でした。中国語やそれぞれが専攻している言語での自己紹介を日本語コースの生徒が通訳してくれにぎやかな交流会となりました。



最初の授業は漢詩。題材は、『黄鶴楼にて孟浩然の綱領に之を送る』でした。黄鶴楼は武漢市のなかでも有名な歴史スポットであり、日本の国語の教科書にも載っているのです。日本の生徒たちも自分の勉強したノートをもっていって先生の話していることを理解しようと頑張っていました。中国の生徒も日本語で一糸懸命説明してくれました。

そのあと太極拳をしたり、水墨画に挑戦したりと充実した一日となりました。昼休みがとても長く、2時間くらいあります。その間に、去年ホームステイに来た3年生が遊びに来てくれ少しほっとした顔が見られました。3年生は受験勉強がとても大変らしく、一緒に活動できないことが少し寂しいようでした。学校はこの日は夕方4時半くらいに下校し、ホームステイ家族のもとへ帰りました。



3月21日（火）

この日は観光日で、中国の生徒5人と一緒に黄鶴楼、帰元寺を訪れました。黄鶴楼はとても美しく、周りに美しい花や木々が植えられており、たくさん歩きましたがとても楽しかったです。黄鶴楼に上ると武漢市を4方向から見ることができ、改めて大都市なのだと実感しました。この日は空気が悪かったのでかすんでいて遠くまで見ることができずに少し残念でした。

帰元寺は僧侶の像がとてもたくさんあり、数を数えるゲームのような見方があって、最後に今年の運勢を教えてくれるカードのようなものをもらいました。表情が豊かで同じ顔の像はひとつもなく、楽しんで見ることができました。私たちが訪れたときは観光客もそれほど多くなかったのでスムーズに見ることができましたが、旧正月のときは歩くのが難しいほど人気のあるお寺だそうです。

その後、アジアで一番大きいというイオンモールにも行きました。とても大きくて歩くだけでとても疲れます。でも、買い物をするには、日本とよく似ているので助かりました。

3月22日（水）

朝から授業に参加しましたが、この日は数学や中国語で日本の生徒にはかなり難しいものとなりました。女子は中国の生徒とメモ交換などをしながらコミュニケーションを図る



様子が見られました。事前にもっと中国のことや中国語を定期的に勉強していれば、授業への取り組み方も違ったのかもしれないと考えさせられました。昼食前に中国のお団子を作る時間がありました。餅粉とあんこで作る団子で、作り方も日本と同じでしたが、生徒たちはあまり作った経験がないのか、最初はあんこを包むのに苦労していました。しかし、そうやって失敗しながらも作業する中でコミュニケーションをとるほうが仲良くなります。ホームステイ先の生徒以外のクラスの生徒と交流することができました。

午後は音楽の授業に参加しました。最初は中国の生徒が個人で取り組んでいる課題発表を鑑賞しました。中国

の伝統的な楽器や舞踊をそれぞれが取り組んでおり、とてもレベルが高く驚きました。日本の生徒もピアノで「さくら」を披露し、中国の生徒からとても上手だと拍手をいただきました。その後、一緒に日本の「さくら」と「茉莉花」という中国の歌を歌いました。大切な人のことを歌ったとても美しい歌です。中国の生徒も「さくら」を上手に歌ってくれました。



音楽の授業の後はクラブ活動のようなものを見学しました。活動しているクラブがこの日は少なかったのですが、ロボット研究クラブを見学させてもらいました。日本の高専が取り組んでいるようなロボコンのロボット作成、研究に取り組んでいるようで、操作方法を習って動かしてみました。得意な生徒はとても楽しかったようで、対象物の移動を指示された通り動かせるまで何度もチャレンジしました。



そして、この日は夜学習に参加をしました。武漢外国語学校では、3時半ぐらいに授業が終わると放課後になります。日本



とは違って部活動のようなものはありません。先ほど説明したクラブは個人の好みでやるようですが、毎日ではないようです。放課後になると、一旦、寮やアパートに帰ってお風呂や夕食を済ませて6時半から夜の授業に参加します。授業と言っても教科書を進めるのではなく、自習のような形で自分の学習をします。そこでわからないことを先生に質問したり、自分の興味のある学習を先取りして勉強したりします。日本の生徒も見学は少ししましたが、別教室で、夏に来日した3年生と交流会を持ちました。遊びの中で日本語を使って、中国の生徒は日本語の勉強になったようです。

また、1年生の日本語のクラスにも参加しました。ここではミニティーチャーとして活躍してほしいと先生に頼まれました。この日の課題は、「あげる」と「もらう」です。過去形になったり、第3者の立場から「あげる」、「もらう」の表現を使うのが難しいようで、日本の生徒たちも自分たちの母国語が難しい言語だということや、中国の生徒たちの真剣に学ぶ様子に感銘を受けたようです。また、ゲームをしたりしながら楽しく学ぶことの大切さも教えてもらいました。



3月23日（木）

この日は観光2日目でした。まず、東湖という有名な湖に行きました。とてもきれいで広い湖で、武漢の観光スポットのひとつです。この日は天気あまり良くなかったのですが、遠くまで見えませんが、天気の良い日は湖がとてもきれいで、長い時間楽しむ人も多いようです。私たちはそこでボートに乗りました。ジェットコースターのようなとても速く走るスピードボートです。運転手さんがわざとターンを激しくするので生徒たちは歓



声をあげながらとても楽しんでいました。一人で自転車のよう
にペダルを回して乗る一輪車のような乗り物もありましたが、この日は管理する人が不在で乗ることができませんでした。（残念！）

その後、武漢博物館へ行きました。日本の通訳機を一人に一台ずつ貸してくれたので、展示品の説明をひとつずつ聞くことができました。時代ごとの展示コーナーに分かれていて、とても興味深かったです。中国の歴史に興味がある人にとっては1日過ごしても飽きないのではないかと思います。また、中国の長い歴史に畏敬の念もいただきました。1階には土産ショップがあり、歴史的な物や博物館

のマスコットのシカをモチーフにしたかわいらしいお土産を買うこともできる場所です。

その後、漢街（はんがい）という大きなショッピング街に行きました。そこは、ヨーロッパ風の街並みをイメージした商店街となっており、若者に人気があるようで、とても人が多かったです。海外のお店も多く、特にアディダスやナイキなどの専門店が多かったように思います。



3月24日（金）

この日は体験入学最後の日です。

1時間目は美術の授業で抽象画に挑戦しました。「春夏秋冬」をテーマに色鉛筆や定規やコンパスを使って自由に表現します。最初は戸惑っていた日本の生徒も中国生徒に教えてもらったり、先生に去年の作品を見せてもらったりして自分たちの作品に段々とのめりこんで取り組むことができました。



2時間目は英語です。先生も生徒も英語しか話しません。これには英語教師の私もびっくりしました。先生が英語を話して授業をすすめることは日本でも行っていることですが、生徒に英語を自発的に話させることは結構難しいことだからです。しかし、中国の生徒は習った文法と単語で間違っても話そうとする態度が養われていました。そんな雰囲気には日本の生徒は、「当てられたらどうしよう・・・」と相談しながら解答の準備。この日は「エネルギーを節約するために、私たちができることを考えよう。」という題材で、最後に中国の生徒は自分たちの考えを英語で発表するというものでした。グループで話し合うときは中国の生徒も母国語で話し合っていて、発表は英語でしていました。最後まで当てられることはなかったけれど、中国の生徒たちの語学学習への関心と意欲に触発された時間となりました。



た。

午後はお別れ会です。まるでホルトホールかグランシアタのような講堂が学校にあることにびっくりしました。発表会や集会などがここで行われるそうです。司会は3年生が2人で中国語担当と日本語担当に分かれて進行してくれます。そして、ホストファミリーの代表から



お礼の言葉をもらいました。それも生徒が日本語に直します。また、日本の生徒も代表がお礼の言葉を述べました。そして、ホストファミリーの生徒がすべて中国語に直して伝えてくれました。もうちょっと中国語を勉強していけば面白かったらうなあと反省する瞬間でした。



お別れ会の後、ホストファミリーの5家庭と一緒に餃子パーティーを催してくれました。一緒に餃子を包むところから始めて、ゲームをしたり話をしたりして楽しみました。本当の家族のように接してくれて、温かい雰囲気の中で一週間を過ごすことができました。

ギョーザの皮が生です！
柔らかいのでとっても包みやすい！
そして、とっても美味しいです！



このとき、男子はゲームに夢中！
女子は餃子を食べながらガールズトーク！
万国共通ですね！

3月25日（土）

この日はホストファミリーと過ごせる最後の日です。それぞれの家庭で思い思いに過ごしたようです。夜、夕食を済ませて19：00にホテルに集合の予定にしていたのですが、どの家庭も遅れることなく送り届けてくれました。お土産を両手いっぱい抱えて帰ってきた生徒たち。ホテルの部屋に入ってもホストファミリーは心配してあれやこれやと世話を焼いてくれて本当にありがたいなあと感じました。少し風邪気味だという生徒に最後まで「薬を飲んだか。」とか「早く休みなさい。」などと声をかけてくれたり、中国語の発音を直してくれたりと、本当の子供のように大事にしてくれました。本当に感謝しかありません。中国のみなさん、本当にありがとうございました。

3月26日（日）

この日はなんと5時半にホテルを出発！前日に朝ご飯用の軽食を買っていましたが、迎えに来てくれた中国の先生方も朝ご飯を準備してくれていました。（親切！！）空港では2時間前のチェックインなので、私たちはかなりぎりぎりの時間でした。しかし、チェックインを済ませると意外と時間がありました。上海空港で出国手続きを行い、飛行機に再度乗り込みました。しかし、出発時間が来てもなかなか飛び立ちません！結局予定より1時間



間遅れての出発。福岡空港では2時15分のバスに乗る予定でしたが間に合わず、1時間後のバスに乗って大分に着いたのは結局6時半くらいとなりました。予定よりも遅くなったの到着にも関わらず、たくさんの先生方がお出迎えしてくれました。ありがとうございました。この経験が将来の進路を決める一つの手助けとなることを願っています。

最後に、ご支援くださった皆様に感謝の言葉を申し上げます。本当に貴重な体験をさせていただいたと思っております。南大分中学校の先生方、PTAの皆様、全校生徒のみなさん、そしてここまで色々なお世話をしてくださった市教委の皆さん、本当にありがとうございました。子どもたちは多くの可能性を持ち、それをこれからの将来へ活かそうと日々頑張っています。この国際交流事業が、大分市と武漢市のみならず、世界へ通じる懸け橋となってくれることを願っています。

大分市立南大分中学校 森竹友恵